

比丘尼橋下流調節池（白子川）

施設概要

比丘尼橋下流調節池は、白子川中流部の治水安全度の早期向上を図るため、比丘尼橋周辺に整備された白子川調節池群の一つです。白子川は都県境を流れる河川であるため、東京都と埼玉県で河川改修を行っています。調節池群の整備により上流側に向けた整備が可能となっています。

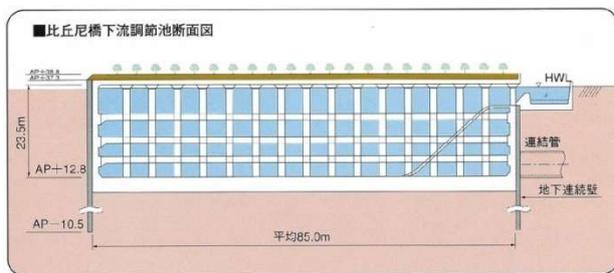
当施設は地下箱式として平成 14 年度に完成し、比丘尼橋上流調節池、白子川地下調節池と合わせた白子川調節池群として、洪水に対する安全性の向上に寄与しています。

なお、洪水時は当施設が満水になると、地下の連結管を経由して、白子川地下調節池へ流入する構造となっています。

また、本調節池の上部については、大泉橋戸公園（練馬区）として利用されています。



平面図



断面図

施設諸元

位置	練馬区大泉町四丁目
完成年度	平成 14 年度
施設形式	地下箱式
敷地面積(m ²)	22,000m ²
貯留量(m ³)	212,000m ³
越流堤延長(m)	109.0m
調節池の上部利用	大泉橋戸公園（練馬区）

位置図



調節池位置のQRコード

